

建築研究所ニュース



平成19年 9月18日

初の「津波防災コース」等の研修修了者25名に修士号学位を授与 (「第47回国際地震工学通年研修」が修了)

独立行政法人建築研究所では、毎年、開発途上の地震国から若い研究者や技術者を招き、「国際地震工学通年研修」などの地震学・地震工学に関する研修をJICAと協力して行っています。現在までに95ヶ国から1,319名の研修生を受け入れ、国際協力、技術援助の分野で高い評価を頂いています。一昨年度から、「国際地震工学通年研修」は、建築研究所及び政策研究大学院大学（八田達夫学長、東京都港区六本木、以下「GRIPS」という。）、国際協力機構（緒方貞子理事長、東京都渋谷区代々木、以下「JICA」という。）との連携により、所定の単位を取得すれば、修士号学位が取得可能な研修として実施しています。

昨年10月に開講した「第47回国際地震工学通年研修」は、これまでの「地震学コース（10名）」、「地震工学コース（10名）」に加え、2004年スマトラ沖地震により発生した甚大な津波災害に鑑み、津波災害による被害を軽減するため、新たに「津波防災コース（5名）」を設置し、3研修コース（25名）に拡充し、今年9月までの1年間、GRIPS及びJICAと協力して実施し、この度、研修を修了した18ヶ国25名の研修生全員に修士号学位を授与し、下記のとおり閉講しました。

研修生は修士号学位を取得することにより、母国で地震学、地震工学の専門家として活躍するための基盤を確保・充実させることができ、母国の地震防災の発展に、より一層寄与される事が期待されています。

（内容の問合せ先）

独立行政法人建築研究所
所 属 国際地震工学センター
管理室長
氏 名 櫻 澤 昌 二
電 話 029-879-0678(直通)
E-mail sakuraza@kenken.go.jp

☆ ご面倒ですが掲載の折には、その記録を留めるため、上記問い合わせ先へお知らせ下さい。

初の「津波防災コース」等の研修修了者25名に修士号学位を授与 (「第47回国際地震工学通年研修」が修了)

独立行政法人建築研究所では、毎年、開発途上の地震国から若い研究者や技術者を招き、「国際地震工学通年研修」などの地震学・地震工学に関する研修をJICAと協力して行っています。現在までに95ヶ国から1,319名の研修生を受け入れ、国際協力、技術援助の分野で高い評価を頂いています。一昨年度から、「国際地震工学通年研修」は、建築研究所及び政策研究大学院大学（八田達夫学長、東京都港区六本木、以下「GRIPS」という。）、国際協力機構（緒方貞子理事長、東京都渋谷区代々木、以下「JICA」という。）との連携により、所定の単位を取得すれば、修士号学位の取得が可能な研修として実施しています。

昨年10月に開講した「第47回国際地震工学通年研修」は18カ国から25名の研修生を迎え、これまでの「地震学コース（10名）」、「地震工学コース（10名）」に加え、新たに「津波防災コース（5名）」を設置し、3研修コース（25名）に拡充し、今年9月までの1年間、GRIPS及びJICAと協力して実施してまいりました。

新規の「津波防災コース」は、2004年スマトラ沖地震により発生した甚大な津波災害に鑑み、津波災害による被害を軽減するため、1年間の本格的な津波防災研修として、今回新設したものです。初年度の今回は、4カ国（バングラデシュ、インドネシア、マレーシア、タイ）から津波防災に関する5名の研究者・技術者を研修生として受け入れました。津波被害の発生後、短期間のJICA研修が数回行われておりますが、研修期間が1年間にわたり、修士号学位の取得が可能な本格的な津波防災研修は、これまでに例がなかったものです。

昨年10月に開講した「第47回国際地震工学通年研修」は、この度、約1年間の研修を修了し、参加した18ヶ国25名の研修生全員に修士号学位を授与し、下記のとおり閉講しました。

去る9月13日(木)に、山内泰之建築研究所理事長及び青木眞JICA筑波所長、岡崎健二GRIPS教授、建築研究所幹部の出席のもと、建築研究所で「閉講式」が行われ、山内理事長から研修を修了したことを証する修了証書が、青木JICA筑波所長からJICA研修修了証書が、古川信雄建築研究所国際地震工学センター長から履修内容を明記した履修証明書が全研修生に手渡されました。

また、翌14日(金)には、GRIPSで「学位記授与式」が執り行われ、八田達夫・GRIPS学長及び山内理事長の連名による「修士号学位記」を研修生に授与しました。

そして、母国を遠く離れて約1年間の日本での研修生活を終えた25名の研修生は研修修了証書及び修士号学位記等を手に、15日（土）以降、帰国の途につきました。

研修生は修士号学位を取得することにより、母国で地震学・地震工学・津波の専門家として活躍するための基盤を確保・充実させることができ、母国の地震・津波防災の発展に、より一層寄与される事が期待されています。

<参考1：修士号学位を授与された研修生の出身国名（18ヶ国）>

- ・バングラデシュ、中国、コスタリカ、エルサルバドル、フィジー、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、ネパール、ニカラグア、パキスタン、ルーマニア、サウジアラビア、スリランカ、シリア、タイ、トルコ、バヌアツ

<参考2：関係写真>

(1) 第47回 国際地震工学通年研修 閉講式（19. 9. 13）

① 山内理事長が研修生に修了証書を授与



② 青木 JICA 筑波所長（写真右）が研修生に修了証書を授与



③ 古川国際地震工学センター長が研修生に履修証明証を授与



④ 岡崎 GRIPS 教授の祝辞



⑤ 研修生代表の答辞



(2) 政策研究大学院大学 (GRIPS) ・学位記授与式 (19. 9. 14)

- ① 村岸建築研究所理事(写真中央)が研修生に修士号学位記を授与
(写真右は八田 GRIPS 学長、左は大山 GRIPS 副学長)



- ② 修士号学位を授与された研修生25名と研修関係者

